



東ティモール アイレウ・エルメラ産地情報

ATJ ひとからひとへ、
手から手へ。
2024年4月更新

<コーヒー基本情報>

産地 : 東ティモール・アイレウ県、エルメラ県
品種 : アラビカ種 (ハイブリッド・デ・ティモール他)
標高 : 約 1300m~1600m
生産者 : 小規模生産者
生産者数 : 11 グループ (2023 クロップ)
加工方式 : 水洗加工方式
収穫時期 : 5月後半~8月



アジアで一番新しい国、東ティモールではコーヒーは石油・天然ガスに次ぐ重要な輸出品です。東ティモール最高峰のラメラウ山の裾野に広がるアイレウ県、エルメラ県は丘陵地帯で、県内の農民の大半がコーヒーの栽培に携わっています。

朝晩の気温差が大きく、コーヒー栽培に適した地域で、ポルトガル植民地時代に持ち込まれたコーヒーの木が栽培されています。

ATJ は、2002年5月の東ティモール独立を契機に、東ティモールのひとびとの自主、自立の手助けとなるべくコーヒー産業の支援に取り組み、コーヒーの加工技術や品質向上やコーヒーだけに依存しない暮らしづくりを応援してきました。

生産者のより良い生活のために

独立から20年経った今でも安定的な収入手段に限られている東ティモール。

現在、現地で活動するFarmPro社と出会い、生産者の為のコーヒーづくりを進めています。

同社は、年収約500ドルのコーヒー生産者の収入を上げて、生産者が抱える貧困や栄養不足の問題を改善したいと活動しています。

そのために、コーヒー畑の土壌や収量改善などに取り組んでおり、生産者から安定して買い付け続ける長期的な関係を築きたいと考え、生産者の収入の多角化のために野菜や果物などの栽培事業も行っています。

- ・生産者の所得向上や収入の多様化への活動
- ・コーヒーのリハビリテーション事業の支援
(2023年に400haで実施)
- ・コーヒーとシェードツリーの苗木生産や苗床の支援
- ・高タンパクの豆の生産など、収入の多様化事業の実施

